第３講　【近代編】アジア諸地域の変化と日本の開国
PART1 西アジアの変化

Chapter1　オスマン帝国の動揺

目標
オスマン帝国の領土が縮小から後退に移るきっかけを知ろう。
オスマン帝国の近代化について理解しよう。

1　オスマン帝国支配の動揺

諸民族の自立とヨーロッパ列強の進出により帝国の領土は縮小の一途をたどる
①**第二次ウィーン包囲の失敗**（1683年）
　これを契機に領土は拡大から縮小へ
②カルロヴィッツ条約（1699年）
　ハンガリー・トランシルヴァニアなどをオーストリアに割譲しヨーロッパから後退
③ロシアのエカチェリーナ２世に**クリミア半島**を奪われる（18世紀後半）
④〔　　　　　　　　〕**独立戦争**（1821～29年）→ロンドン会議でギリシア独立（1830年）

2　オスマン帝国の改革

①**イェニチェリ軍団の解散**（1826年）
　バルカン半島征服後にキリスト教徒の子弟をデウシルメ制で集めて編制した歩兵軍団
②**アブデュルメジト１世**による〔　　　　　　　　　　　　〕**〔恩恵改革〕**（1839～76年）
　司法・行政・財政・軍事にわたる大規模な西欧化改革・再編成を**ギュルハネ勅令**で宣言
　※法治主義に基づく近代国家となり，宗教の別を問わない法的な平等も認められる（＝**オスマン主義**）。
③〔　　　　　　　　〕**戦争**（1853～56年）→タンジマートの成果
　イギリス・フランスに支援され南下してきた〔　　　　　　〕を破る
　※ 1856年の**パリ条約**で終戦し黒海は中立化される。
　※ギリシア独立戦争を含む数々の「**東方問題**」により，ウィーン体制の国際秩序は完全に崩壊。
④ボスニア・ヘルツェゴビナの農民反乱（1875年）

⑤ブルガリアの独立運動（1876年）→武力で鎮圧

⑥［　　　　　　　　］**憲法〔オスマン帝国憲法〕**の発布（1876年）

「新オスマン人」の大宰相**ミドハト＝パシャ**が起草した**アジア初の近代憲法**。

※しかし，**アブデュルハミト２世**がロシア＝トルコ〔露土〕戦争を口実に憲法を停止し，議会も閉鎖し，スルタンの専制政治が復活（1878年）。

⑦［　　　　　　　　　　　　］**〔露土〕**戦争（1877～78年）

前年までのボスニア・ヘルツェゴビナとブルガリアでの蜂起を受けて対立

※オスマン帝国が敗れ，**サン＝ステファノ講和条約**が締結される（1878年）。

※ドイツのビスマルクが開いた**ベルリン会議**で列強の利害が調整されてロシアは抑え込まれ，新たに［　　　　　　　　］**条約**が締結される（1878年）。

※ルーマニア・セルビア・モンテネグロが独立し，［　　　　　　　　　　］はオスマン帝国内の自治国とされる。イギリスはキプロスの，オーストリアはボスニア・ヘルツェゴビナの占領と行政権を認められるなど，**オスマン帝国はヨーロッパの領土を大幅に失った。**

ベルリン条約後のバルカン半島

まとめ　第二次ウィーン包囲の失敗がオスマン帝国の領土縮小の契機となった。
西欧化改革やアジア初の近代憲法が作られたが，オスマン帝国の衰退は止まらなかった。

Chapter2　イスラーム圏の変化

目標
ムスリム全体への危機感から，アフガーニーが唱えた考えを知ろう。
エジプトの近代化の結果について理解しよう。

1　アラブ民族の目覚め

①**アラビア半島**の〔　　　　　　　　　　〕**王国**（1744年頃～1818年，1823～89年）

イブン＝アブドゥル＝ワッハーブがイスラーム改革を唱える（＝**ワッハーブ運動**）

※イラン人やトルコ人がもたらした神秘主義〔スーフィズム〕と聖者崇拝を非難し，『クルアーン』とムハンマドの言行に従えと説く。これが現代まで続くアラブ人の思想の根幹。

※中央アラビアの豪族サウード家と結び建国。のちリヤドを首都とする。

②**シリア**におけるアラビア語・アラブ文化の復興運動（19世紀初め）

19世紀末以降に展開するアラブ民族運動への道を切り開く

③**イラン**の〔　　　　　　　　　　〕**朝**（1796～1925年）→テヘランが首都

列強の進出を許し，ムスリム全体の危機を感じた〔　　　　　　　　　　〕は，19世紀後半に**パン＝イスラーム主義**を唱え，イスラーム諸国に広がる専制と無知を批判した。

アフガーニー

1828年　**トルコマンチャーイ条約**でロシアに治外法権を認める

※関税自主権を失いアルメニア・アゼルバイジャンも割譲

1848年　バーブ教徒の武装蜂起

1890年　タバコ専売利権がイギリス人に譲渡される

1891年～〔　　　　　　　　　　〕**運動**（～92年）

※政府はイギリスへの譲渡を全面撤回するが，賠償金の支払いに苦しみ列強への従属化が進む。

1905年～**〔立憲〕革命**（11年）→議会開設・憲法制定

※日露戦争における日本の勝利の影響が強い。

④**アフガニスタン**の情勢

A　19世紀に入るとアフガン王国がカージャール朝の侵攻を受ける

ロシアの中央アジア経由での南進を恐れるイギリスがこれに介入

※アフガニスタンのイランからの独立を認めさせる。

B　第一次アフガン戦争（1838～42年）・第二次アフガン戦争（1878～80年）

イギリスがアフガンに侵攻して保護国化し英領インドとの境界を定める

2　エジプトの近代化と外国の介入

①エジプトの展開

1798年　**フランス**の〔　　　　　　　　　　〕によるオスマン帝国属領**エジプト遠征**（～99年）

1801年　イギリス・オスマン帝国連合軍が駐留フランス軍を破りオスマン帝国によるエジプトの主権回復

オスマン帝国が部隊長〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を派遣

②ムハンマド＝アリー朝の成立（1805年）

ムハンマド＝アリー

A　フランスの援助による急速な近代化改革で財政難に

B　オスマン帝国の求めに応じ出兵し一時ワッハーブ朝を滅ぼす（1818年）

③**エジプト＝トルコ戦争**→ムハンマド＝アリーがシリアを要求しオスマン帝国と戦い財政難に

A　第一次（1831～33年）・第二次（1839～40年）

オスマン帝国に圧勝したエジプトにイギリスとロシアは危機感を覚えた

B　ロンドン条約（1840年）→シリアからは撤退させられる

オスマン帝国スルタンの宗主権の下でエジプト・スーダン総督の地位を世襲

④フランスのレセップスにより〔　　　　　　〕**運河**完成（1869年）

地中海と紅海を結びアメリカの大陸横断鉄道とともに世界の交通網を大きく変える

⑤エジプトが**イギリス・フランスの財務管理下**に置かれる（1870年代）

急速な近代化・戦争・スエズ運河建設などで莫大な債務を抱えたことが原因

⑥**イギリスのディズレーリ首相**によるエジプト干渉

ユダヤ系財閥ロスチャイルド家の資金力を利用し**スエズ運河会社の株を買収**（1875年）

⑦〔　　　　　　　　　　〕の蜂起（1881～82年）→イギリスが鎮圧し保護下に置く

「**エジプト人のためのエジプト**」がスローガン

※ウラービーはセイロン島に流されるが，ウラービー運動はその後のエジプト民族運動の原点となる（日本の東海散士〔柴四朗〕は彼に会い『佳人之奇遇』を著した)。

※日本とオスマン帝国は**エルトゥールル号事件**（1890年）でも大きな接点がある。

まとめ

アファガーニーは「パン＝イスラーム主義」を唱え，専制と無知を批判した。エジプトは急な近代化の結果，財政難でイギリス・フランスの保護下に置かれた。

第3講　PART1　確認問題

1 オスマン帝国が1826年に解散させた軍団を何というか。

①　マムルーク　　②　シパーヒー
③　アーヤーン　　④　イェニチェリ

2 タンジマート〔恩恵改革〕を行った人物はだれか。

①　アブデュルメジト１世　　②　マフムト２世
③　アブデュルハミト２世　　④　セリム３世

3 クリミア戦争の講和条約を何というか。

①　パリ条約　　②　サン＝ステファノ講和条約
③　ベルリン条約　　④　カルロヴィッツ条約

4 オスマン帝国が，南下政策を再開したロシアに敗れた戦いを何というか。

①　クリミア戦争　　②　カーナティック戦争
③　露土戦争　　④　アロー戦争

5 ベルリン条約締結後，オスマン帝国内の自治国とされた国はどこか。

①　セルビア　　②　モンテネグロ
③　ブルガリア　　④　ルーマニア

6 アラビア半島に18世紀中ごろに建てられた王国を何というか。

① マタラム王国　② ワッハーブ王国
③ ジョホール王国　④ ヒジャーズ王国

7 18世紀末にイランを統一した王朝を何というか。

① ザンド朝　② アフシャール朝
③ サファヴィー朝　④ カージャール朝

8 1828年，ロシアがカージャール朝に締結させた不平等条約を何というか。

① ロンドン条約　② トルコマンチャーイ条約
③ パリ条約　④ サン＝ステファノ講和条約

9 オスマン帝国から部隊長としてエジプトに派遣され，1805年にエジプト総督となり自立した人物は誰か。

① レセップス　② イブン＝アブドゥル＝ワッハーブ
③ アフガーニー　④ ムハンマド＝アリー

10 英仏の支配に反発し，「エジプト人のためのエジプト」をスローガンとして蜂起した人物はだれか。

① ムハンマド＝アリー　② ディズレーリ
③ ミドハト＝パシャ　④ ウラービー

第 3 講　PART1　確認問題　解答

1 解答：④

イェニチェリは，バルカン半島征服後にキリスト教徒の子弟をデウシルメ制で集め編制した歩兵軍団。

①：イスラーム各王朝に仕えたトルコ人などの奴隷兵士のこと。
②：オスマン帝国のトルコ人騎兵のこと。
③：オスマン帝国の地方名士のこと。

2 解答：①

アブデュルメジト 1 世は，司法・行政・財政・軍事にわたる大規模な西欧化改革・再編成をギュルハネ勅令で宣言した。

②：イェニチェリ軍団の解散などの改革を実行したオスマン帝国のスルタン。
③：ミドハト憲法を制定したオスマン帝国のスルタン。
④：18 世紀末，オスマン帝国の近代化を図ったスルタン。

3 解答：①

パリ条約により，黒海は中立化された。

②：ロシア＝トルコ〔露土〕戦争の講和条約。
③：サン＝ステファノ講和条約締結後，ベルリン会議が開催された結果，新たに結ばれた条約。
④：1699 年，オスマン帝国がオーストリアなどと締結した条約。

4 解答：③　露土戦争はロシア＝トルコ戦争ともよばれ，サン＝ステファノ講和条約が締結された。

①：オスマン帝国が，イギリス・フランスに支援され南下してきたロシアを破った戦い。
②：南インド諸国の対立に介入したイギリスとフランスによる３次にわたる戦い。
④：イギリス・フランスによる中国に対する侵略戦争。

5 解答：③　ベルリン条約により，オスマン帝国はヨーロッパの領土を大幅に失った。

①：条約締結後，独立した。
②：条約締結後，独立した。
④：条約締結後，独立した。

6 解答：②　ワッハーブ王国は，イスラーム改革を唱えるワッハーブ派が建てた王国である。

①：16 ～ 18 世紀に，インドネシアのジャワ島東部を中心に存在した王国。
③：16 世紀に，マラッカ王国のスルタンがマレー半島南端に移って建てた王国。
④：20 世紀初めに，フセインによって建てられた王国。

7 解答：④　カージャール朝は，トルコ系民族の王朝である。

①：1750 年に成立した王朝。カージャール朝に滅ぼされた。
②：1736 年にナーディル＝シャーが建てた王朝。カージャール朝に滅ぼされた。
③：16 世紀初め，サファヴィー教団がイランに建てた王朝。

8 解答：②　トルコマンチャーイ条約では，ロシアに治外法権を認めた。

①：エジプト＝トルコ戦争の講和条約。
③：クリミア戦争の講和条約。
④：ロシア＝トルコ〔露土〕戦争の講和条約。

9 解答：④　ムハンマド＝アリーは，エジプト総督に就任し，帝国の支配下で自治を認められた。

①：スエズ運河を完成させたフランスの外交官。
②：ワッハーブ王国で，ワッハーブ運動を展開したイスラーム改革運動指導者。
③：19 世紀後半にパン＝イスラーム主義を唱えた人物。

10 解答：④　ウラービー運動はその後のエジプト民族運動の原点となった。

①：オスマン帝国によりエジプトに派遣され，エジプト総督となった人物。
②：エジプトへの干渉を行ったイギリスの首相。
③：オスマン帝国でミドハト憲法を起草した改革派官僚。